

1 地域公共交通計画



(1) 計画の策定

バランスの取れた地域公共交通網を実現するため、令和4年に地域公共交通計画を策定しました。

(2) 公共交通の再整備・維持に関する原則的な考え方

市民の積極的な利用と維持への協力による公共交通の確保・維持

(3) 計画のポイント

計画で示した再編と維持の二つの方針のもと取り組みを進めていきます。

再編方針

① 地域特性に合わせた再整備

② 公共交通網とサービスレベルの維持

主な内容 ・ 拠点間路線の再整備、生活路線の再整備 等

維持方針

① 利用しやすい環境の整備

② 啓発・利用促進の強化

③ 観光利用の強化

(4)公共交通のネットワークの再構築

地域公共交通再整備の方針に基づき、**図表1**に示す公共交通ネットワークを民間事業者と連携して再構築するとともに、その運行を行います。路線の再整備を行うものは「路線再整備・運行事業」に位置づけ、運行を継続する路線については「路線維持・運行事業」に位置づけています。

図表1 本市における公共交通再整備後の各路線の位置づけ

	路線名	再編前の位置づけ	事業主体	再編対象	備考
A 主要幹線	JR 信越本線		JR東日本		
	JR 篠ノ井線		JR東日本		
	JR 飯山線		JR東日本		
	しなの鉄道 北しなの線		しなの鉄道		
	しなの鉄道 しなの鉄道線		しなの鉄道		
	長野電鉄 長野線		長野電鉄		
B 幹線	大豆島保科温泉線(長野駅-若穂間)	幹線	長野市	○	廃止路線代替バス
	平林線		長電バス		
	鬼無里線		アルピコ交通		地域間幹線系統
	県道戸隠線		アルピコ交通		地域間幹線系統
	ループ橋経由戸隠線		アルピコ交通		
	新町大原橋線		アルピコ交通		地域間幹線系統
	高府線		アルピコ交通		地域間幹線系統
C 準幹線	篠ノ井新町線		長野市	○	廃止路線代替バス
	川後線	幹線	長野市	○	廃止路線代替バス
D 広域路線	屋代須坂線		長野市	※	地域間幹線系統
	綿内屋島線		長野市	○	
E 都市内輸送	若槻団地線		アルピコ交通		
	西条線		アルピコ交通		
	東長野病院線		長電バス		
	浅川西条線		長電バス		
	運動公園線		長電バス		
	北屋島線		長野市	○	廃止路線代替バス
	三才線		長電バス		
	浅川西条市民病院線		長電バス		
	三才東長野病院線		長電バス		
	マユミダ三才線		長電バス		
	丹波島線		アルピコ交通		
	綱島線、田牧線、紙屋線		アルピコ交通	○	
	合同庁舎線		アルピコ交通		
	犀北団地線		長野市	○	廃止路線代替バス
	小市線		長野市	○	廃止路線代替バス
	松代篠ノ井線		長野市	○	廃止路線代替バス
	牟礼線		飯綱町・長野市		地域間幹線系統

実施済 現在取組中

位置づけ	路線名	事業者	備考	
F 都市拠点内輸送	日赤線	アルピコ交通		
	日赤線	長電バス		
	運転免許センター篠ノ井線	アルピコ交通		
	北原篠ノ井線、三本柳線、稲里循環線	アルピコ交通	○	
	ぐるりん号(循環)	長野市		
	びんずる号	アルピコ交通		
	安茂里線	長野市	フィーダー系統	
	西長野・上松線	長野市		
	若里東北線(循環)	長野市		
	あさかわ号(一部デマンド)	浅川住自協		
G 地域生活拠点内輸送	川谷線	長野市		
	二ツ石線	長野市		
	上神代線	長野市		
	長沼線	長野市		
	綿内線	長野市		
	松代西条線(循環)	長野市		
	大室線	長野市		
	川中島線(循環)	長野市		
	横田塩崎線	長野市		
	篠ノ井共和線	長野市	フィーダー系統	
	赤柴線	長野市	○	
	金井山線(東口線)	長野市	○	
	主要幹線	長野市	○	
	廃止路線代替バス	長野市	○	
	篠ノ井ぐるりん号(循環)	都市拠点内輸送	長野市	○
	東北ぐるりん号(循環)	長野市	※	
	大豆島保科温泉線(若穂-保科温泉間)	幹線	長野市	○
	廃止路線代替バス	長野市	○	
	G 地域生活拠点内輸送	南鬼無里線	長野市	○
		大望峠線	長野市	○
地域振興線		長野市	○	
参宮線		長野市	○	
西部線		長野市	○	
戸隠線		長野市	○	
すざくら号		羊井住自協	○	
粉ノ木線(循環)		長野市	○	
越道線(循環)		長野市	○	
信級線(循環)		長野市	○	
宇内坂線(循環)		長野市	○	
一倉田和線		長野市	○	
左右線(循環)		長野市	○	
南部線		長野市	○	
細尾線(スクール混乗・循環)		長野市	○	
水内線(スクール混乗・循環)		長野市	○	
牧内塩本線(スクール混乗・循環)		長野市	○	
信里線(スクール混乗)		長野市	○	
信里地域バス運行委		信里地域バス運行委	○	
のぶさと号		信里地域バス運行委	○	
すずらん号		信更住自協	○	
大岡篠ノ井線		準幹線	長野市	○
ハッピー号		長野市	○	
ひだか線(循環)		長野市	○	
くさかの線(循環)		長野市	○	
みやまさ線(循環)	長野市	○		
すめらぎ線(循環)	長野市	○		
新じんば号	七二会住自協	○		
かつら号	小田切住自協	○		
中条線	長野市	○		
I その他	松代観光巡回タクシー	長野市	○	
	茶臼山動物園線	長野市	○	
	奥裾花線	アルピコ交通		

(1) 市営バスの見直しについて

地域公共交通計画に基づき、市バス路線の見直しを進めています。この度、地元との協議が整ってきたことから、以下の路線について運行を見直すものです。

① 中条地区 5 路線

定時定路4路線及びデマンド運行 1 路線をAIを活用したオンデマンドシステムによる運行に変更します。併せて、信州新町地区と共通エリアとして相互利用を可能とします。

運行形態：定時定路線 ⇨ AI オンデマンドシステムによるデマンド運行
 運行時間：午前7時から午後7時

運賃：地域内200円 ⇨ 信州新町地区内200円 信州新町⇨中条 地区外400円
 中条地区内 200円

※お出かけパスポートは別料金

運行イメージ

信州新町線
 ひだか線ほか4路線



令和5年11月現在

信州新町・中条線

一つのエリアとして運行



令和6年4月から

②大岡篠ノ井線

利用者の減少、運転手不足等から大岡篠ノ井線の運行を見直し、大岡地区内及び信更地区内を運行するデマンド運行による車両を活用し、信更支所において路線が重複するアルピコ交通が運行する篠ノ井新町線に接続する運行へ変更します。

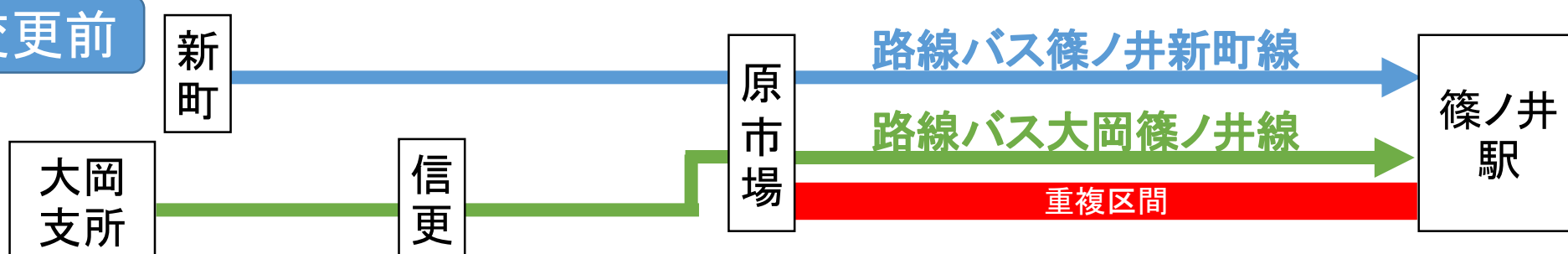
運行形態：定時定路線 ⇨ 各地区のデマンド運行（ハッピー号、すずらん号）
 運行時間：ハッピー号 午前6時30分～午後7時（朝の時間を30分拡大）
 すずらん号 午前7時～午後6時

運賃：区間運賃制 ⇨ 定額運賃（信更地区200円、大岡地区400円）＋篠ノ井新町線運賃
 ※お出かけパスポートは別料金

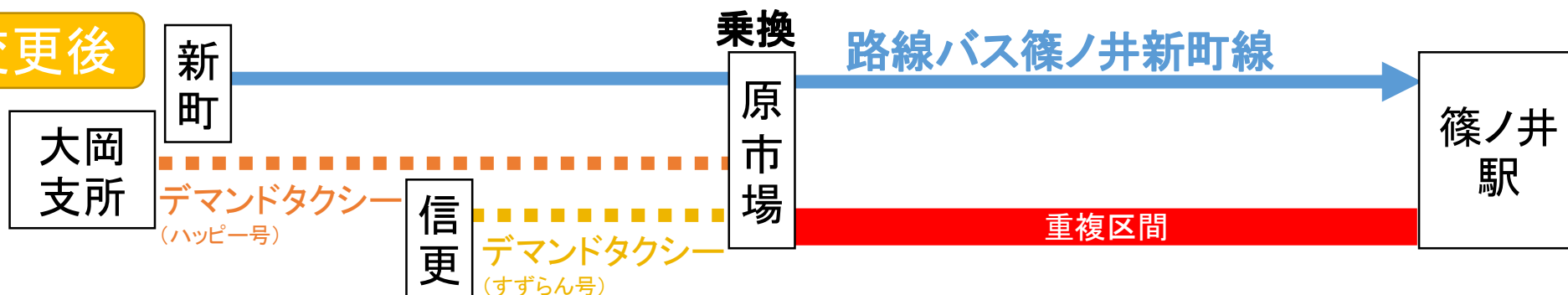
【一般利用】

	見直し前		見直し後			
区間	大岡支所前	➡	篠ノ井駅	大岡支所前→原市場	乗り継ぎ割引 ➡	原市場→篠ノ井駅
運賃	1,100円		400円	△50円	610円	
			960円			

変更前



変更後



(2)これまでの経過及び今後の予定

① 中条地区5路線

実施時期	内 容
R5. 2	中条住自協事業説明
R5. 4	中条住自協方針確認
R5. 7	中条地区区長会事業説明
R5. 7	地域公共交通会議(中間報告)
R5. 9	新運行形態 全戸配布
R5. 10	利用者登録受付
R5. 11	利用者説明会
R5. 11	部長会議、政策説明会
R5. 11	地域公共交通会議(協議)
R5. 12	市バス条例改正 道路運送法変更申請
R6. 2	新運行方法 周知
R6. 4	新運行体制スタート

②大岡篠ノ井線

実施時期	内 容
R5. 1	住自協事業説明(大岡、信更)
R5. 2	住自協事業説明(篠ノ井) 地区役員会事業説明(大岡)
R5. 3	地区区長会事業説明(信更) 信更地区沿線地区利用者説明会
R5. 4	利用実態調査(利用者アンケート)
R5. 6	地区区長会方針説明(大岡)
R5. 7	地域公共交通会議(中間報告)
R5. 7	地区役員会等方針説明(篠ノ井・信更)
R5. 8	地区区長会方針説明(篠ノ井)
R5. 10	地区区長会見直し案説明(3地区)
R5. 10	信更地区沿線地区利用者説明会
R5. 10	見直し案地区回覧(意見募集)
R5. 11	部長会議、政策説明会
R5. 11	地域公共交通会議(協議)
R5. 12	市バス条例改正・道路運送法申請
R6. 2	新運行方法 周知
R6. 4	新運行体制スタート

(3) 条例改正

長野市有償旅客運送自動車の設置等に関する条例
 長野市有償旅客運送自動車の設置等に関する条例施行規則

令和6年4月1日から施行する

改正のポイント

- ① 条例の市バス等の路線から、大岡篠ノ井線、ひだか線、くさかの線、みやまさ線、すめらぎ線及び中条線を除く。
- ② 市バス等の路線の信州新町線を信州新町・中条線に改める。
- ③ 信州新町・中条線に係る普通旅客運賃、定期旅客運賃を下記のように定める。

信州新町地区内運賃	200円	地区内定期運賃	1ヶ月	4,800円
地区外運賃	400円		3ヶ月	13,680円
中条地区地区内運賃	200円		6ヶ月	25,920円
地区外運賃	400円	地区外定期運賃	1ヶ月	9,600円
			3ヶ月	27,360円
			6ヶ月	51,840円

※小児料金は大人料金の半額

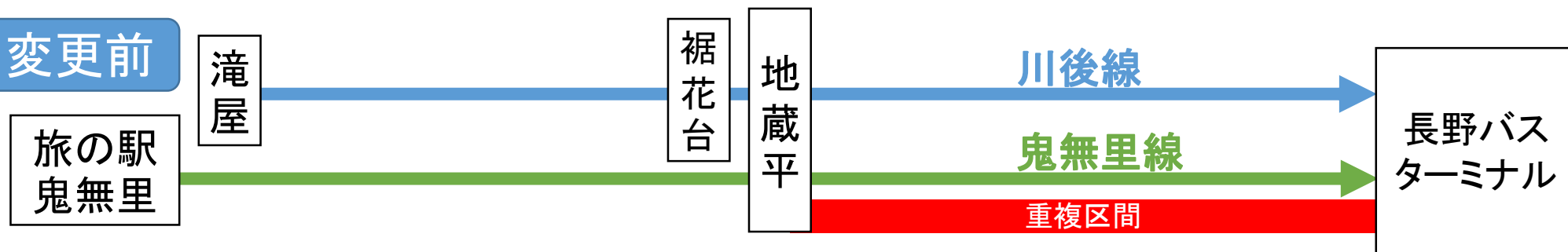
①川後線

利用者の減少、運転手不足等から川後線の運行区間を滝屋（七二会地区）➡長野バスターミナルから裾花台団地（小田切地区）➡長野バスターミナルに短縮し名称を裾花台団地線（仮）に変更します。

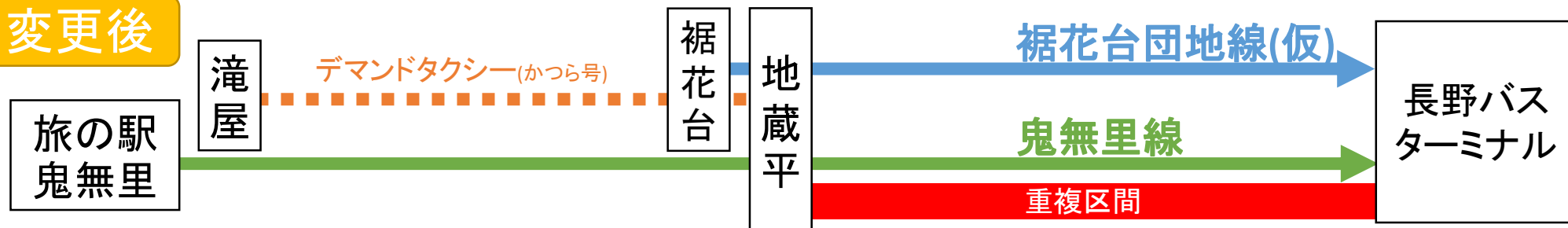
小田切地区内を運行するかつら号の週3日（月水金）の運行を週5日（月～金）の運行に変更し、裾花台団地線（仮）及び鬼無里線に接続します。

- 運行形態：定時定路線 ⇨ デマンド運行（かつら号）
 運行時間：かつら号 午前7時00分～午後4時
 ※午後4時以降は、裾花台団地での乗り換えに限り運行
- 運賃：区間運賃制 ⇨ 定額運賃（小田切地区内200円、）+路線バス運賃
 ※お出かけパスポートは別料金

変更前



変更後

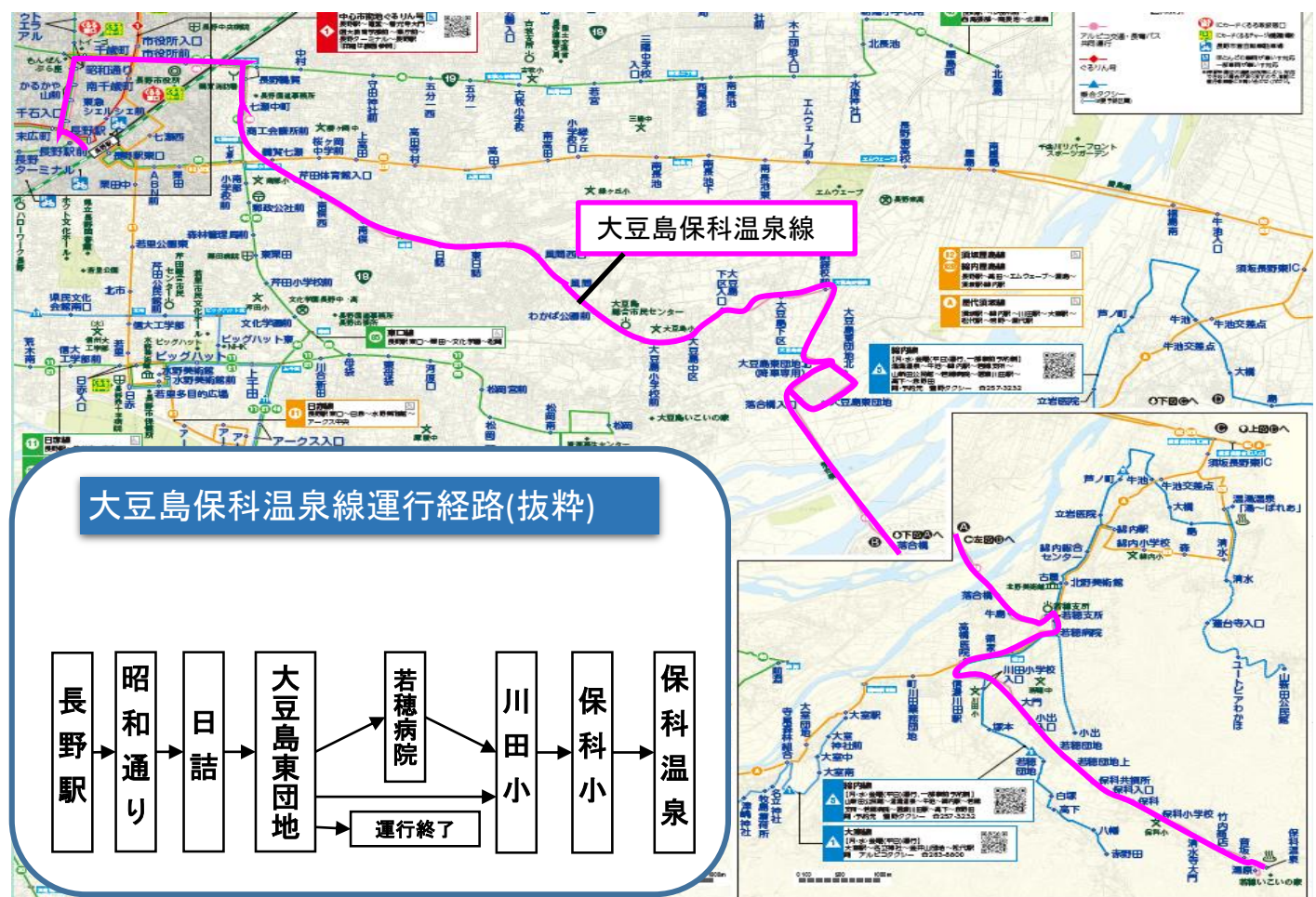


②大豆島保科温泉線

利用者の減少、運転手不足等から大豆島保科温泉線の土休日の便数を利用状況に応じて減便します。
運賃及び運行区間の変更はありません。

- 長野行 12便 (5便) ⇨ 7便 (3便)
- 保科温泉行 12便 (5便) ⇨ 6便 (3便) ※ () 内は保科温泉発着

※参考 運行便数：平日 長野行 21便 (7便) 保科温泉行 21便 (7便)
平日の運行の変更はありません



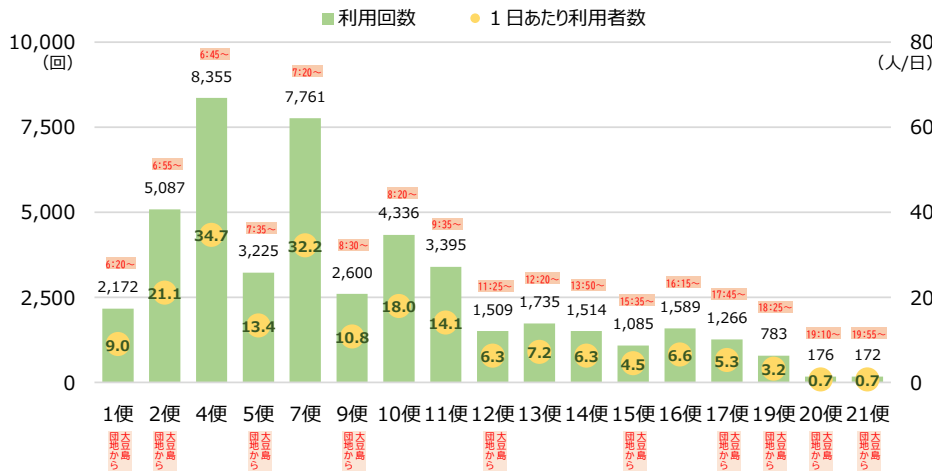
大豆島保科温泉線の利用状況

令和3年度の一便あたりの利用者数

・平日は、早い時間帯に長野駅方面に行き、遅い時間帯に大豆島・保科温泉方面に帰ってくる移動が多くなっている。長野駅方面行きの20便・21便の利用者数が1人未満となっている。日中は利用者数の差が大きい。
 ・休日は、平日と比較して利用者数が少ない便が多い。長野駅方面行きの20便の利用者数が1人未満となっている。

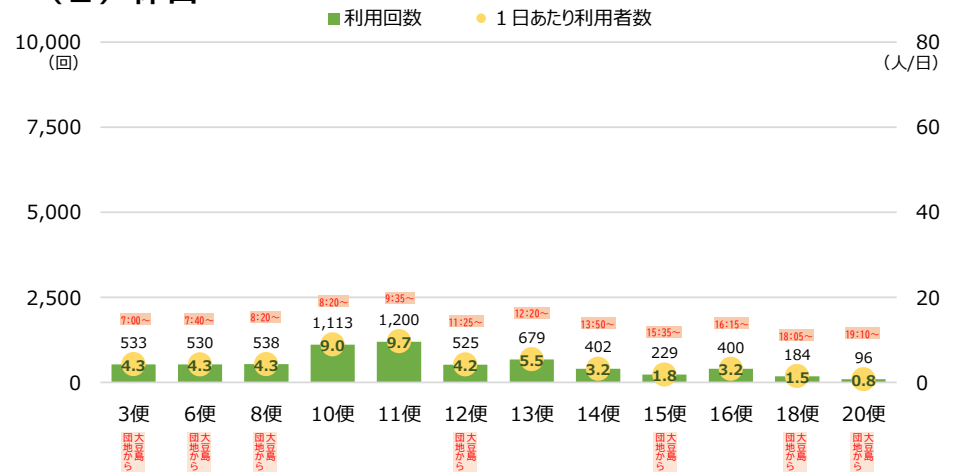
(1) 平日

長野駅方面行きの利用者数

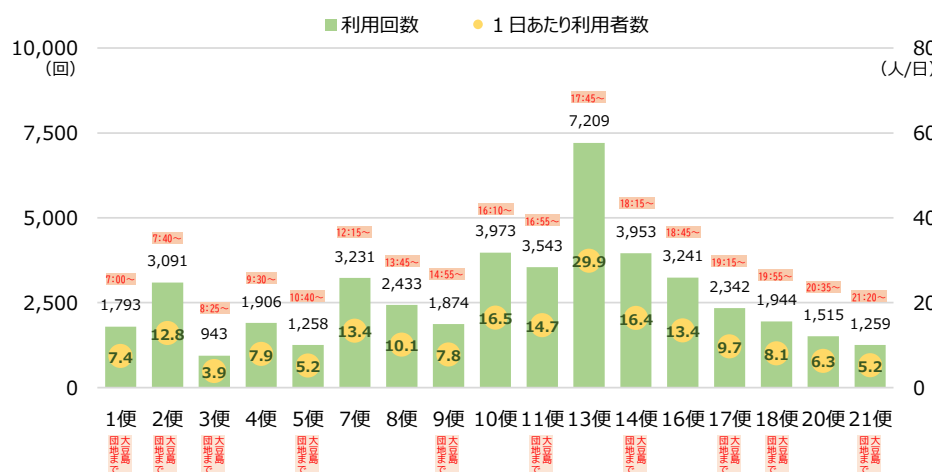


(2) 休日

長野駅方面行きの利用者数



大豆島・保科温泉方面行きの利用者数



大豆島・保科温泉方面行きの利用者数



① 川後線

実施時期	内 容
R5. 2	小田切住自協事業説明
R5. 5	七二会住自協事業説明
R5. 5	利用実態調査(利用者アンケート)
R5. 7	小田切住自協方針確認
R5. 7	地域公共交通会議(中間報告)
R5. 8	七二会住自協方針確認
R5. 8	小田切住自協方針確認
R5. 9	地区区長会方針説明 (小田切、七二会)
R5. 10	見直し案地区回覧(意見募集)
R5. 11	小田切地区利用者説明会
R5. 11	部長会議、政策説明会
R5. 11	地域公共交通会議(協議)
R6. 2	新運行方法 周知
R6. 4	新運行体制スタート

②大豆島保科温泉線

実施時期	内 容
R5. 5、6	住自協事業説明 (芹田、大豆島、若穂)
R5. 7	地域公共交通会議(中間報告)
R5. 7、8	地区区長会方針説明 (芹田、大豆島、若穂)
R5. 10	地区区長会見直し案説明 (芹田、大豆島、若穂)
R5. 10	見直し案地区回覧(意見募集)
R5. 11	部長会議、政策説明会
R5. 11	地域公共交通会議(協議)
R6. 2	新運行方法 周知
R6. 4	新運行体制スタート